

第30回トヨタシンポジウム

日時 11月24日(日)
13:30~16:30
会場 刈谷市産業振興センター内
(604会議室)

住所: 刈谷市相生町1丁目1-6 JR刈谷駅から徒歩数分
電話: 0566-28-0555 資料代: 200円程度



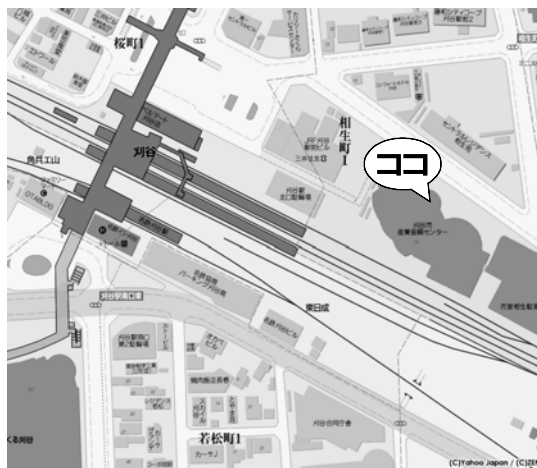
講演
テーマ
「トヨタの闇を暴く」
(仮題)

フリージャーナリスト

林 克明氏

はやしまさあき。1960年長野県生まれ。業界誌記者を経て89年より週刊誌記者として働く。95年から1年10ヵ月モスクワに住みチェチェン戦争取材。環境問題、社会問題を主なテーマとする。01年「ジャーナリストの誕生」で第9回週刊金曜日ルポルタージュ大賞受賞。著書は、『カフカスの小さな国 チェチェン独立運動始末』(小学館)『ブーチン政権の闇』(高文研)など。共著に『トヨタの闇』(ちくま文庫)『安ければそれでいいのか?』(コモンズ)ほか。

トヨタ自動車は4~6月決算で、今期の連結営業利益の見通しを期末決算時を大きく上回る1兆9400億円とした。業績の回復を背景に取締役報酬・賞与は12億円超。株主配当も昨年の50円から90円に引き上げられた。一方で「円高協力金」としてコスト削減分の還付は2次下請以下にはおよんでいない。TPPへの参加、愛知県が検討する「国家戦略特区」など、一部大企業のみを支援する施策が次々と提案される中で、地域経済・中小下請企業の行く末・あり方を真剣に議論する場が必要になっている。



第30回トヨタシンポジウム実行委員会

連絡先: ☎456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館3F 愛労連内 電話052-871-5433 FAX052-871-5618 E-mail post@aioren.gr.jp

ボロもうけを続けるトヨタ
そのうらやみで中小下請・労働者は…